



異文化理解講座でメキシコの伝統文化「死者の日」を学ぶ子どもたち

外国人や外国にルーツを持つ人たちが熊本に来て暮らし

熊本県に住む仲間として

熊本市国際交流振興事業団では、国際交流イベントや講座の開催などを通じて、多文化共生社会を目指しています。事務局長を務める勝谷知美さんに話を聞きました。

熊本市国際交流振興事業団では、国際交流イベントや講座の開催などを通じて、多文化共生社会を目指しています。事務局長を務める勝谷知美さんに話を聞きました。

熊本市国際交流振興事業団では、国際交流イベントや講座の開催などを通じて、多文化共生社会を目指しています。事務局長を務める勝谷知美さんに話を聞きました。

理解の一步は知ることから
私たちは、自治体の外国人向け日本語教室や協議会立ち上げの支援などを行っています。イベントや日本語教室はあくまで「きっかけ」です。大切なのは参加者の外国人と日本人がつながること。つな

がりができれば、次は地域のイベントに参加したり、悩みごとを相談したり、災害時に助け合うことができるようになります。外国人に近づいていき

始めたとき、言葉や文化の違いはつきもの。一度の説明で伝わらないときは、言い方や説明を変えてみる「やさしい日本語」で話しかける、翻訳アプリを活用するなどの工夫が必要です。

理解の一步は知ることから

熊本市国際交流振興事業団では、国際交流イベントや講座の開催などを通じて、多文化共生社会を目指しています。事務局長を務める勝谷知美さんに話を聞きました。

外国人も日本人も 同じ社会を築いていく仲間



(一財) 熊本市国際交流振興事業団
かつや ともみ
勝谷知美 事務局長

そして、何気ない会話の中に隠れている外国人の困りごとを見つけたら、県や自治体、私たちに相談してください。

外国人のための相談窓口

熊本市外国人総合相談プラザ

でんわ ☎096(359)4995
ばしよ 熊本市国際交流会館2階



熊本県外国人サポートセンター

でんわ ☎080(4275)4489
ばしよ 県庁本館8階



WHAT IS

やさしい日本語

簡単な単語や文法を使用するなど、日本語が得意ではない外国人住民でも理解できるように配慮した日本語のこと。

阪神・淡路大震災のときに、外国人住民に避難情報や支援情報を十分に届けられなかったことを教訓に「やさしい日本語」が広がっていきました。

一番の心得は「はさみの法則」

- 1 「はっきり言う」 □をあけて発音する
- 2 「さいごまで言う」 文末まできちんと話す
- 3 「みじかく言う」 短く簡潔に伝える